



庄原市西城町  
株式会社 ひばごんファーム  
代表 田盛 健治さん (61歳)

## 迅速対応と共済金が助けに

### 【園芸施設共済】

ハウス14棟（約62アール）で、夏秋イチゴを栽培しています。ハウスがあるこの辺りは、標高700メートルを超える高地で、冬は雪が多く、一年を通して風が強い場所です。そうしたところでハウス経営を始めるなら、自然災害に備えておかなければと、2008年の会社設立当時から、園芸施設共済に加入しています。

昨年9月の台風10号では、ハウス3棟のビニールが破れ、共済金を受け取りました。以前にも強風の被害を受けていて、共済金は助けになっています。

NOSAIには、小さな被害でも連絡し、いつも迅速に対応してもらっています。もう少しビニールの補償があればと思っていたので、昨年新たに追加された小損害不てん補1万円特約を付け加えました。

ハウスの被害防止対策として支柱と筋交いを入れ、ハウス本体を補強しています。また、雪の対策として、周りに積もった雪でハウスがつぶれないように、ハウスの間隔を広く取り、重機で除雪しやすいようにしています。幸いにも、ハウスがつぶれるなどの被害は一度もありません。

栽培している夏秋イチゴの「すずあかね」は、傷みやすく、病害虫の影響を受けやすいので、管理が難しい品種です。環境を考慮した栽培マニュアルを作成し、従業員に栽培方法を周知しています。これからも備えを欠かさず、質の良いイチゴを栽培していきたいです。

（広報紙「NOSAI広島」2021年 第29号より）